

# 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区(仮称) 基本構想検討委員会（第1回）

## 検討資料骨子

### ・調査の目的と進め方

国の「歴史的風土審議会答申」や平成12年9月の「第3次明日香村整備計画」等を受け、世界最古といわれる天文図を有するキトラ古墳及びその周辺地区の保全と歴史的風土の活用を図るため、国営飛鳥歴史公園区域の拡張について検討する。

### ・地域の概況

地域の概況について確認する。

- ・地域の立地条件、産業・人口、上位計画、地域づくりに向けた取り組み状況
- ・法規制、古都法による買入地の状況
- ・史跡の指定状況
- ・キトラ古墳保存の経緯、価値、周辺状況の把握

### ・国営飛鳥歴史公園の現況と求められる役割

これまでの既存4地区の機能に加え、歴風審答申や利用者ニーズ等を考慮し以下について設定する。

- (ア) 歴史的風土及び文化財等の周辺環境の保全の場づくり
- (イ) 歴史的風土及び文化財等の活用による体験的学習の場づくり
- (ウ) 歴史的風土の創出（風景づくり）
- (エ) 参加・交流の場づくり
- (オ) 利用、情報の拠点づくり
- (カ) 地域内外とのネットワークづくり

### ・キトラ古墳周辺地区（仮称）のあり方

上記（ア）～（カ）を踏まえ新たな地区における基本的考え方を整理する。

#### 基本的考え方

- 1) キトラ古墳及びその周辺環境を保全・活用した体験的学習の場と機会を創出する
- 2) キトラ古墳及びその周辺環境の保全を図る
- 3) 飛鳥地方の歴史的風土の保全と活用を図る
- 4) 国営公園として利活用性の高い空間形成を図る

#### 区域設定の検討

地区の景観的特質を踏まえ、自然条件、社会条件を検討しつつ以下の視点で区域について検討する。

- ・ キトラ古墳とそれを取り巻く山塊は保全を図る必要がある
- ・ 地区の特徴的な地形、土地利用は飛鳥の歴史的風土として保全を図る必要がある

- ・ 耕作放棄地、放置された里山の維持管理を通じた歴史的風土の質的向上を図る必要がある
- ・ 周辺の集落や飛鳥周遊歩道との関係に留意する

この結果、

- ・ キトラ古墳及びその周辺環境の保全を図る区域
- ・ 飛鳥の歴史的風土の保全と活用を図る区域
- ・ 国営公園として利便性の高い区域
- ・ 国営公園と一体的な保全が望ましい区域

の4つの区域を設定することとし、第2回検討委員会において利用者予測や公園としての利用形態等の検討を加え全体区域について設定する。